



東京製綱株式会社
TOKYO ROPE MFG.CO.,LTD.

2008年3月期 決算説明会

2008年5月30日

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

08年3月期決算の概要

09年3月期見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

2008年3月期決算のポイント

二ケタ増収と増益

売上高 784億4400万円（前期比 +13.4%）

開発製品好調、鋼索鋼線(ロープ・ワイヤ)も拡大

営業利益 40億6100万円（前期比 +4.6%）

ロープ・開発製品好調でスチールコード減益をカバー

当期純利益 11億3100万円（前期比 △35.5%）

役員退任慰労金・評価損等の特損計上による影響

2008年3月期決算ハイライト

売上高 : 02/3以降最高
営業利益 : 40億円台に回復

(単位:百万円)

	07/3	売上 高比	08/3	売上 高比	前年同期比		修正 見通し	増減
売上高	69,193	-	78,444	-	+9,251	113.4%	78,000	+444
営業利益	3,881	5.6%	4,061	5.2%	+180	104.6%	3,900	+161
経常利益	3,314	4.8%	3,338	4.3%	+24	100.7%	3,300	+38
当期純利益	1,753	2.5%	1,131	1.4%	△622	64.5%	1,300	△169

主要製品の状況（08年3月期）

ロープ・ワイヤ・産業機械好調、中国事業も本格化

		07/3	→	08/3	
鋼索鋼線	ロープ・ワイヤ	○		◎	需要拡大:エレベータロープと海底ケーブルが好調
	スチールコード	△		△	国内タイヤコード回復傾向 中国子会社生産本格化 ソーワイヤ堅調
開発製品	道路安全施設	○		○	差別化商品拡大で受注増
	産業機械	○		◎	計量/包装機受注増 ワイヤソー堅調

セグメント別の状況（売上高）

ロープ・ワイヤ好調(前期比+約15%)、スチールコード横這い

開発製品は各分野好調で大幅増収(前期比+27.2%)

(単位:百万円)

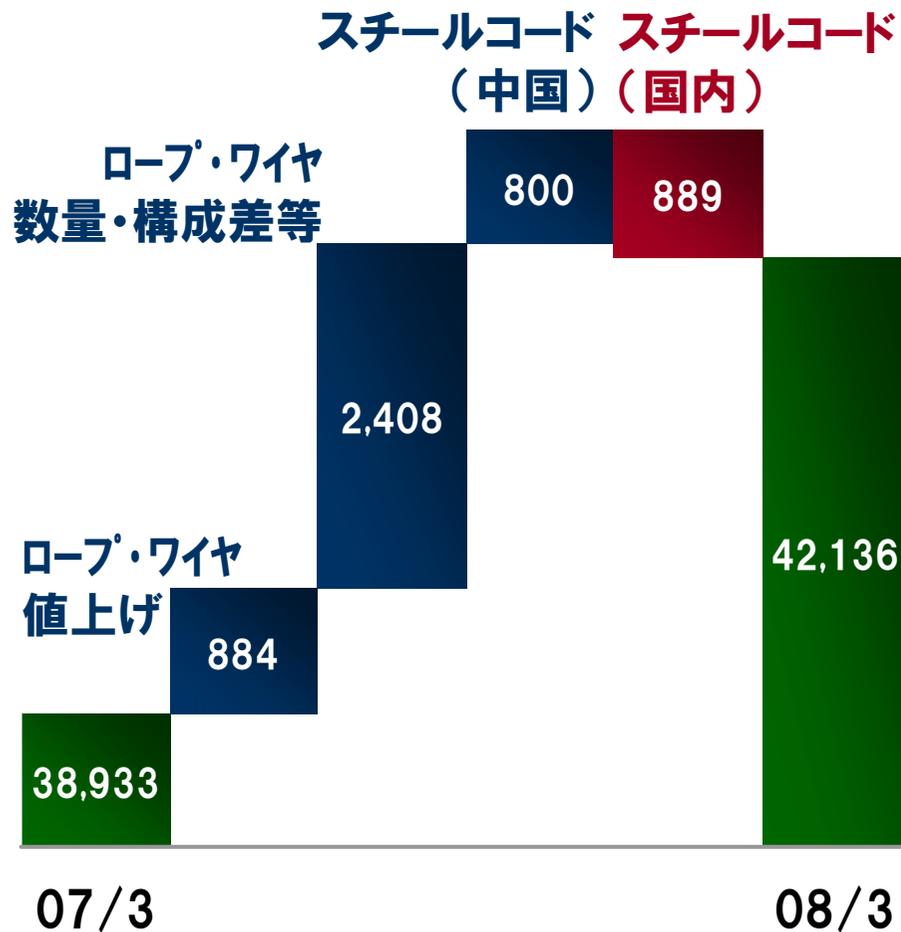
	07/3	構成比	08/3	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	38,933	56.3%	42,136	53.7%	+3,203	108.2%
開発製品	20,080	29.0%	25,544	32.6%	+5,464	127.2%
不動産	1,377	2.0%	1,398	1.8%	+21	101.5%
その他	8,802	12.7%	9,365	11.9%	+563	106.4%
合計	69,193	100.0%	78,444	100.0%	+9,251	113.4%

増収要因分析（売上高）

鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ・スチールコード・ソーワイヤ

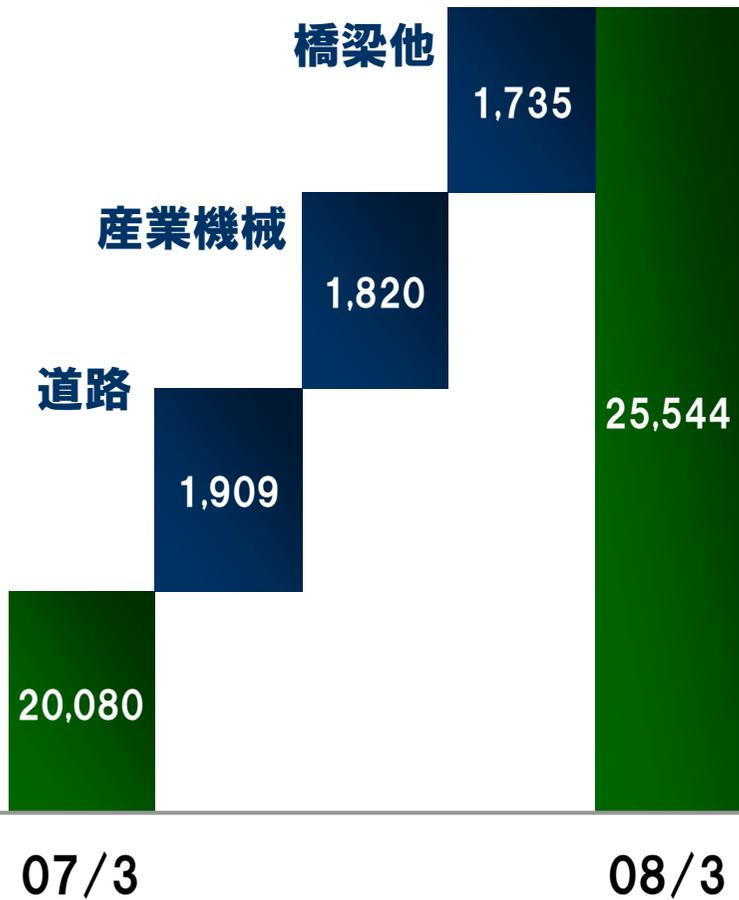
（単位：百万円）



開発製品

道路安全施設・産業機械・橋梁など

（単位：百万円）



セグメント別の状況（営業利益）

鋼索鋼線： ロープ・ワイヤ増益もスチールコード減益

開発製品： 道路安全製品など各分野好調で増益

（単位：百万円）

	07/3	構成比	08/3	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	1,839	47.4%	1,300	32.0%	△539	70.7%
開発製品	888	22.9%	1,560	38.4%	+672	175.7%
不動産	796	20.5%	811	20.0%	+15	101.9%
その他	357	9.2%	388	9.6%	+31	108.7%
合計	3,881	100.0%	4,061	100.0%	+180	104.6%

キャッシュ・フロー

営業活動キャッシュ・フローの減少は売上増が影響

営業活動 : 売上拡大に伴う売掛債権・たな卸資産増
投資活動 : 有形固定資産・投資有価証券を取得

(単位:百万円)

	07/3	08/3
現金及び現金同等物の期首残高	4,368	1,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,030	4,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,497	△5,417
フリー・キャッシュ・フロー	1,533	△1,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,036	1,934
現金及び現金同等物の期末残高	1,051	1,891

08年3月期決算の概要

09年3月期見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

2009年3月期見通し

スチールコード事業改善もあり増収増益を予想

売上高 : 830億円 (前期比+5.8%)

営業利益 : 44億円 (前期比+8.3%)

(単位:百万円)

	08/3 実績	売上高比	09/3 見通し	売上高比	増減	
売上高	78,444	-	83,000	-	+4,556	105.8%
営業利益	4,061	5.2%	4,400	5.3%	+339	108.3%
経常利益	3,338	4.3%	3,800	4.6%	+462	113.8%
当期純利益	1,131	1.4%	1,800	2.2%	+669	159.2%

主要製品見通し (09年3月期)

好調な産業機械とスチールコード事業が牽引する見込

		08/3	→	09/3	
鋼索鋼線	ロープ・ワイヤ	◎		◎	需要堅調だが 材料の価格・供給動向を注視
	スチールコード	△		○	中国子会社が軌道に ソーワイヤ・国内タイヤコード増
開発製品	産業機械	◎		◎	ワイヤソーは引き続き増加へ
	道路安全施設	○		△	差別化商品拡大も 事業環境不透明

2009年3月期見通し（セグメント別売上高）

鋼索鋼線460億円(+9.2%)、開発製品256億円(+0.2%)

鋼索鋼線：中国中心にスチールコードが本格拡大・ソーワイヤも増加

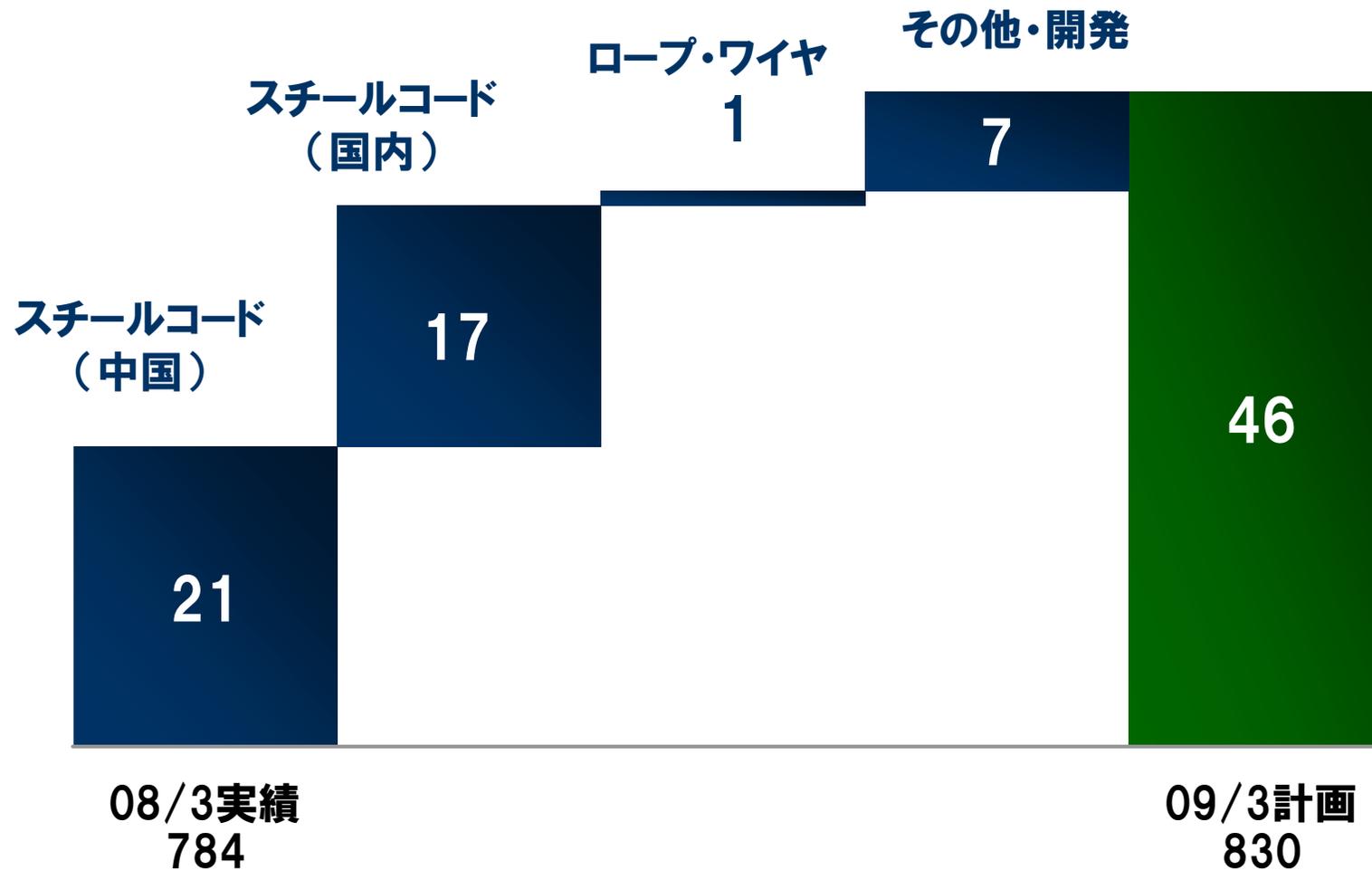
開発製品：ワイヤー伸長も公共関連は不透明で前年並みを想定

(単位:百万円)

	08/3 実績	構成比	09/3 見通し	構成比	前年比	
鋼索鋼線	42,136	53.7%	46,000	55.4%	+3,864	109.2%
開発製品	25,544	32.6%	25,600	30.8%	+56	100.2%
不動産	1,398	1.8%	1,400	1.7%	+2	100.1%
その他	9,365	11.9%	10,000	12.1%	+635	106.8%
合計	78,444	100.0%	83,000	100%	+4,556	105.8%

見通し分析 (09年3月期売上高)

(単位:億円)



2009年3月期見通し（セグメント別営業利益）

対前年比増益（営業利益44億円）

鋼索鋼線： 原材料価格高騰の影響あるも、
中国スチールコード事業が操業本格化で収益改善へ

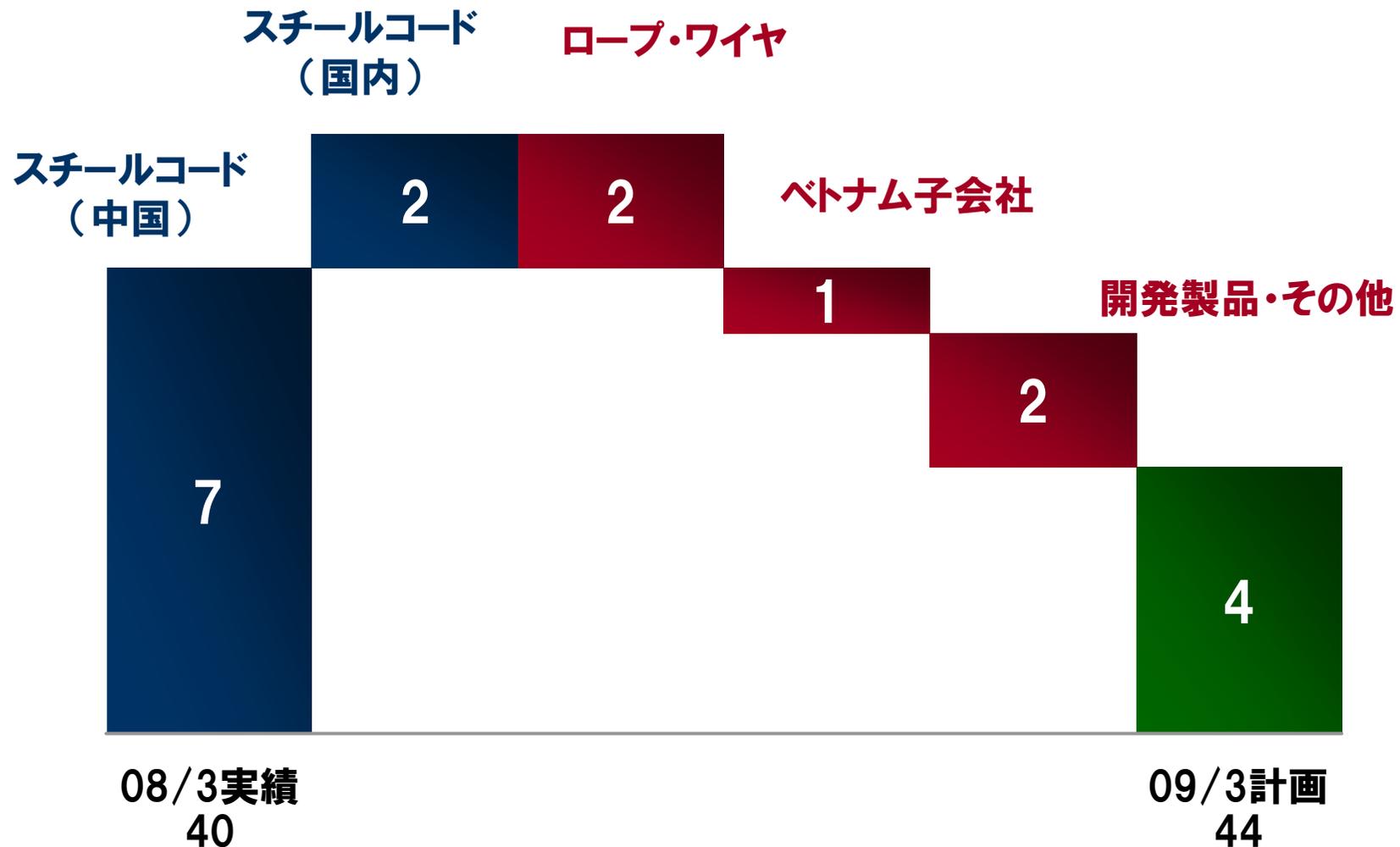
開発製品： 産業機械堅調続くも、公共関連不透明で減益を予想

（単位：百万円）

	08/3 実績	構成比	09/3 見通し	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	1,300	32.0%	1,850	42.0%	+550	142.3%
開発製品	1,560	38.4%	1,400	31.8%	▲160	89.7%
不動産	811	20.0%	800	98.6%	▲11	98.6%
その他	388	9.6%	350	90.2%	▲38	90.2%
合計	4,061	100.0%	4,400	100%	+339	108.3%

見通し分析（09年3月期営業利益）

（単位：億円）



設備投資額・減価償却費・研究開発費

設備投資額： 能力増強＋更新投資
 (ソーワイヤ増産、伸線/より線機リフレッシュ等)

従業員数： 海外を中心にグループで増強

(単位:百万円)

	08/3期		09/3期	
	ステップアップ 8・7	実績	ステップアップ 8・7	見通し
設備投資額	3,500	3,684	4,000	3,900
減価償却費	3,600	3,639	3,650	3,700
研究開発費	900	856	900	900
従業員数(連結)	1,902	1,881	1,969	2,008

「安定的」な株主還元を継続

配当金： 08年3月期は前期同様1株2円50銭

現中期計画の配当性向目標30%(～10年3月期)を見据え、安定配当を継続する方針

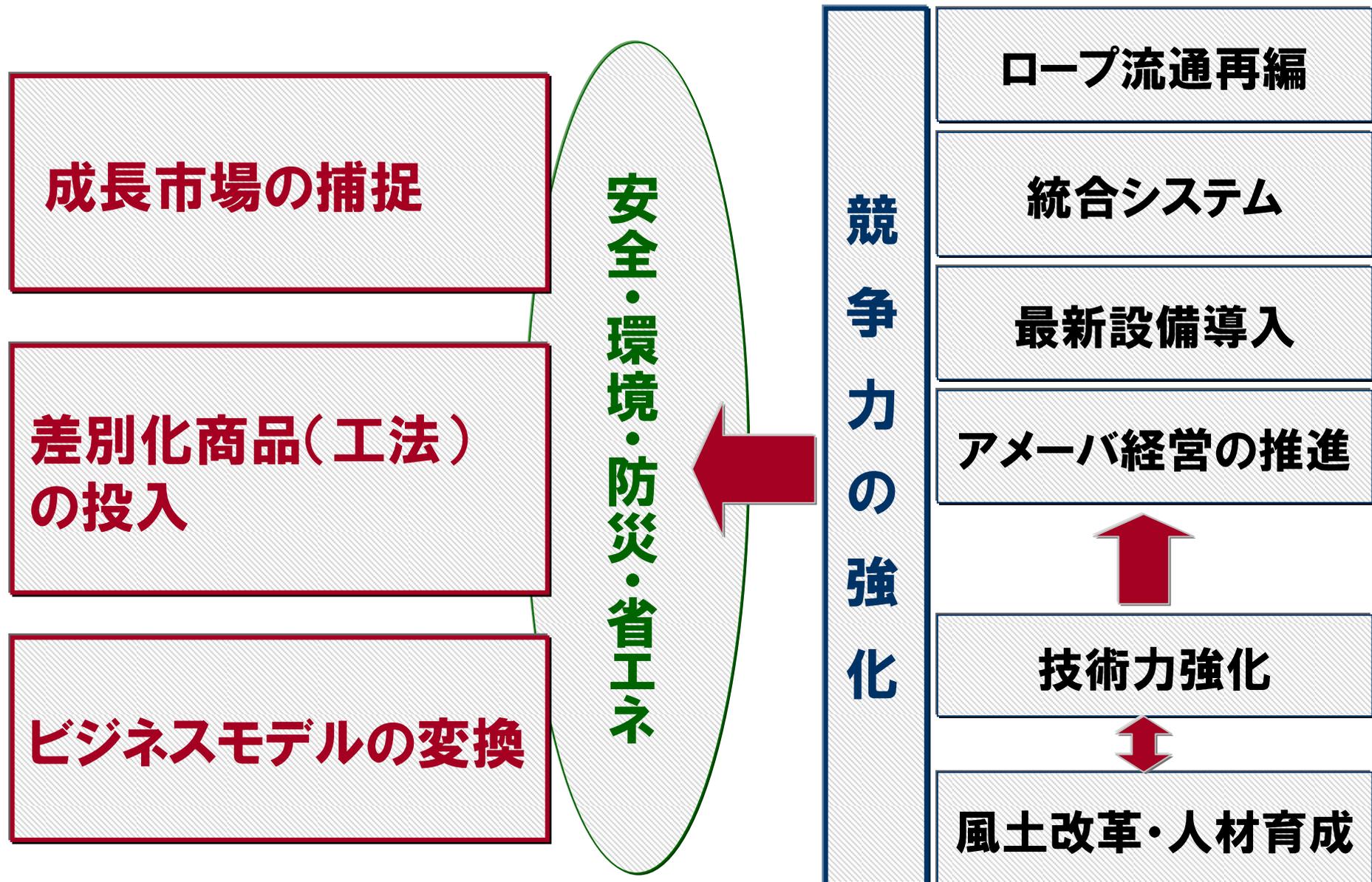
	07年3月期 実績	08年3月期 確定	09年3月期 予想
通 期	2円50銭	2円50銭	未定
配当性向(連結)	22.0%	33.4%	—

08年3月期決算の概要

09年3月期見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

基本戦略



基本戦略の具体的内容

成長市場捕捉

- ・中国スチールコード
- ・高級エレベータロープ
- ・ソーワイヤ・ワイヤソー

差別化商品(工法)投入

- ・高強度橋梁用ケーブル
- ・高強度ロープ
- ・半被覆ロープ
- ・落石防護工
- ・アクリル板遮音壁
- ・タフコーティッド製品

ビジネスモデルの変換

- ・ソーワイヤ・ワイヤソーのシナジー
+ シリコン結晶製造設備
- ・ロープ診断システム+半被覆ロープ

安全・環境・防災・省エネ

競争力の強化

ロープ流通再編

統合システム
(Web受注)

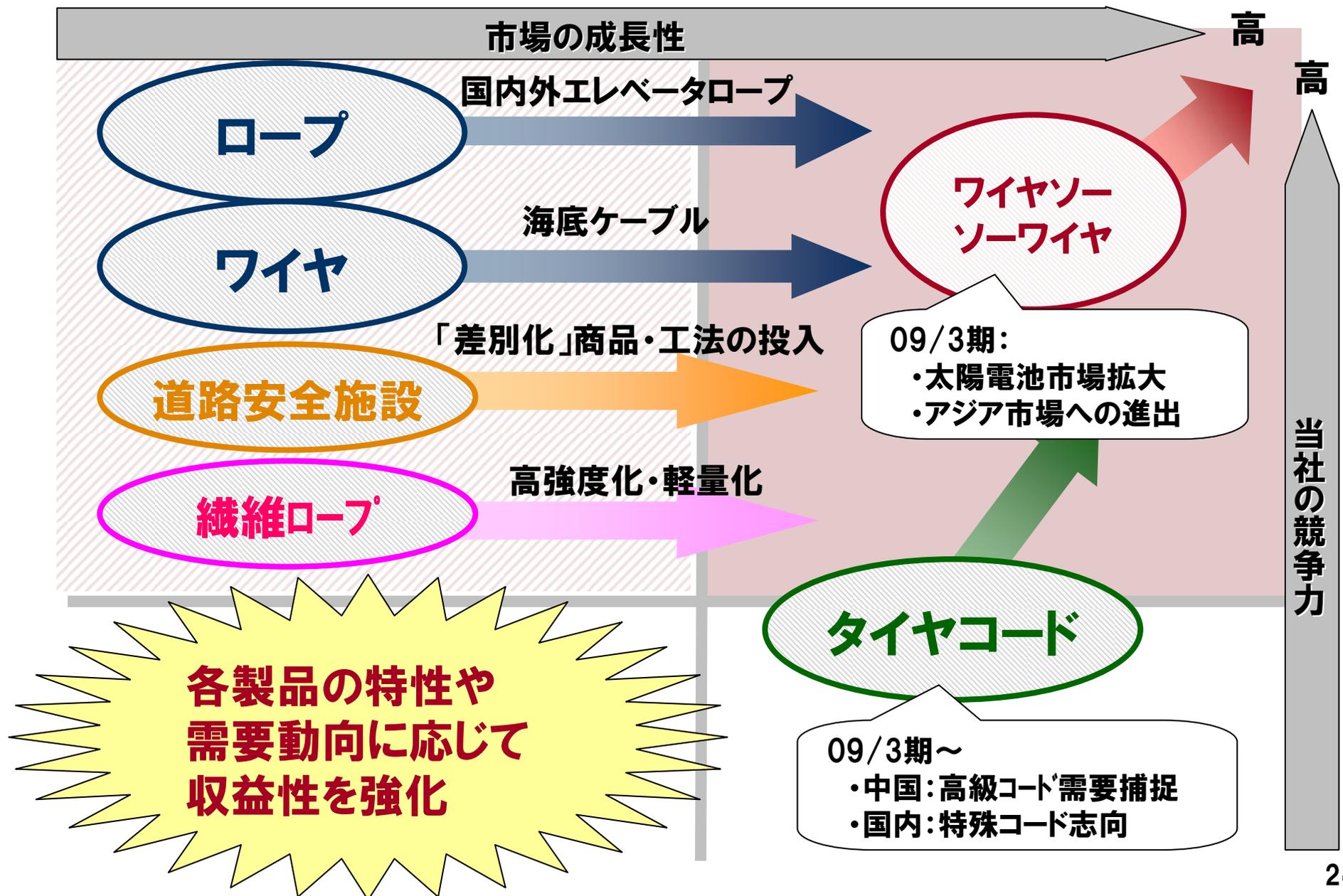
最新設備導入
(伸線機・製綱機)

アメーバ経営の推進
(ロープ・ワイヤ部門)

技術力強化
(研究所の強化)

風土改革・人材育成
(技能度評価システム)

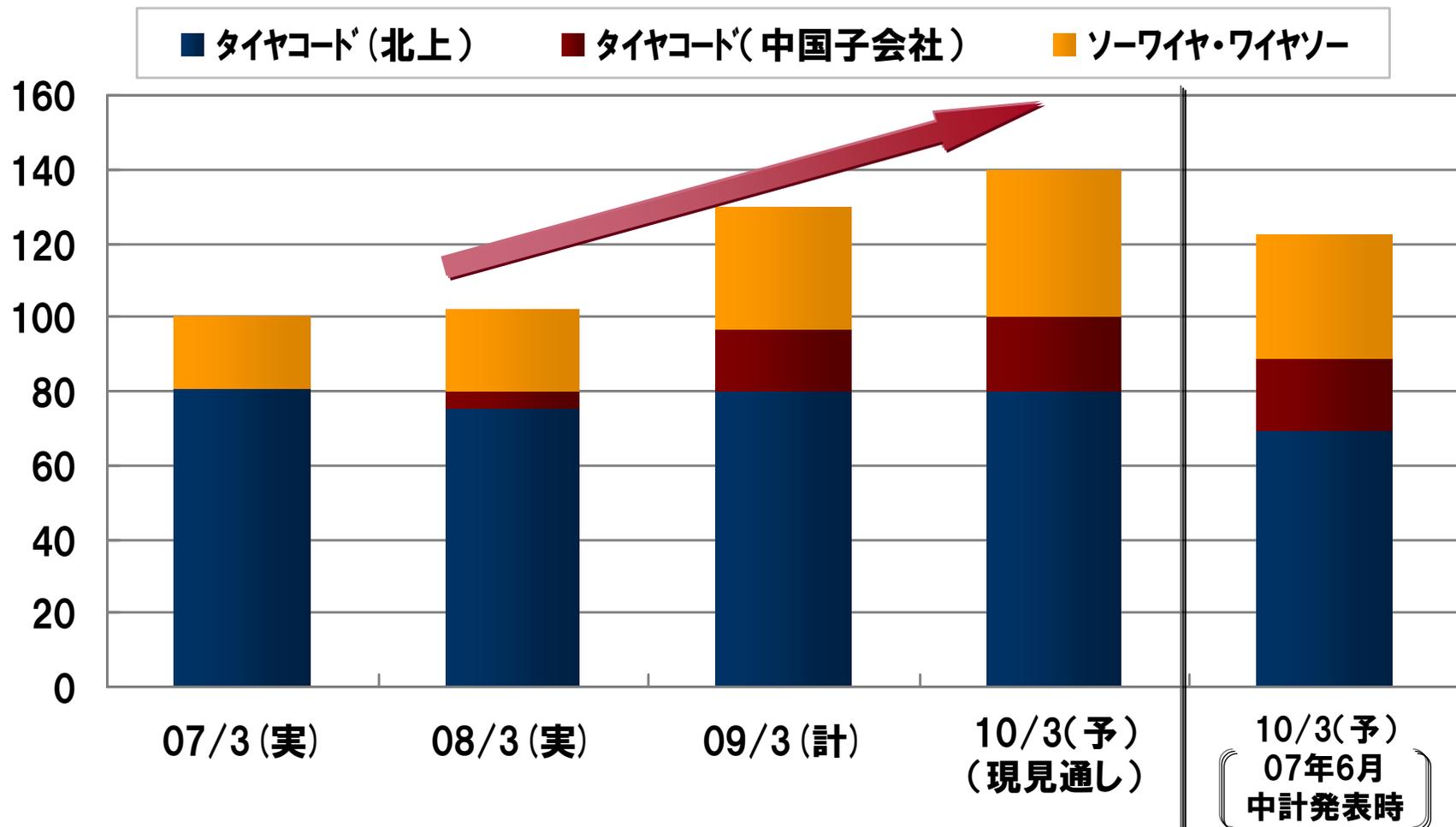
事業環境に即応した柔軟な製品戦略



スチールコード部門の需要予測を上方修正

中国タイヤコード、ソーワイヤ・ワイヤソーの需要拡大加速を見込む

当社スチールコード部門 売上推移 (07/3期=100)



スチールコード部門(国内タイヤコード)

数量は横ばい、高付加価値化により収益回復を目指す

08/3期下期から回復基調

09/3期計画：前年比+4%（重量ベース）

当社の対応

- ・ 高付加価値の建設車両向け特殊コード増産
- ・ 顧客とのグローバルレベルの関係強化・共同開発
- ・ **原燃料価格高騰への対応が課題**

東京製綱スチールコードを合併（2007.10.1）

- ・ 製販一体となったスピーディーな対応
→顧客からの要望、需要環境の変化に対応
- ・ 組織統合による業務の効率化

スチールコード部門(中国タイヤコード)

中国工場(江蘇省・常州)

1,500トン/月の当初目標 年央に達成へ

現 状

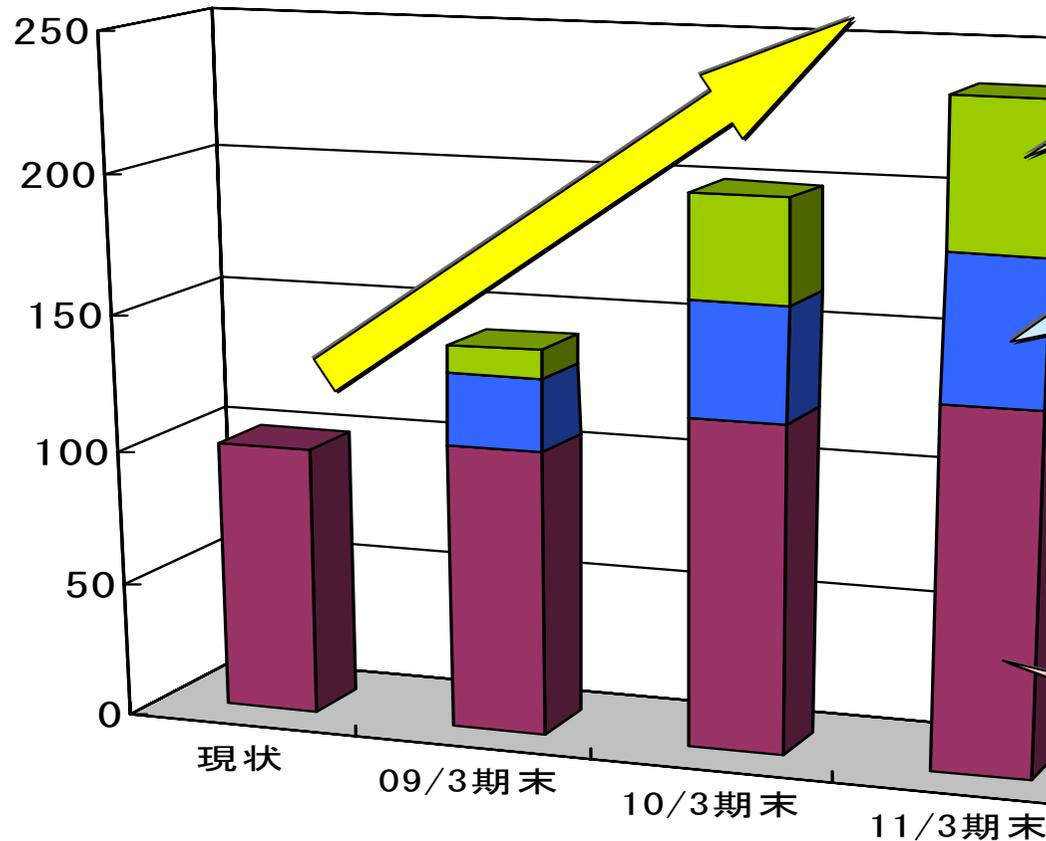
- 現地従業員の習熟度アップ、現時点の稼働率80%、08年6月のフル稼働を目指す。
- 顧客からの認証取得は概ね完了。
- **ソーワイヤの製造開始(08年5月～)**



スチールコード部門（ソーワイヤ）

シリコン不足も解消し、太陽電池市場更に拡大
3拠点体制で11/3期生産能力倍増へ

ソーワイヤ販売見込（現状=100）



・中国
08/5月 生産開始

・和歌山分工場
08/6月 生産開始
西日本の拠点、顧客対応強化



・北上工場
増産

ワイヤロー事業も中国で展開へ

国内販売が好調、中国へ事業拡大



新機種の投入もあり 国内販売 08/3実績: +25% ⇒ 09/3計画: +75%

フェローテック社との事業提携（中国で事業展開）

- ・「**上海漢虹東綱貿易有限公司**」（資本金2億円 当社出資比率51%）を設立、ワイヤローの販売・メンテナンス・部品供給を行う。
（08年7月営業開始予定）
- ・東綱機械(当社子会社)のライセンスにより、上海漢虹精密機械(フェローテック子会社)でワイヤローを製造し、供給する。

当社メリット

- ・中国における製造拠点確保
- ・シリコン結晶製造装置と連携した営業
- ・中国におけるソーワイヤ事業との連携

合併会社収益見込

09/3期	売上	9億円
11/3期	売上	70億円程度
	経常利益	10億円程度

ロープ・ワイヤ部門(国内ロープ・ワイヤ)

国内ロープ需要は堅調

重厚長大の復活(鉄鋼、造船等)

エレベーターロープの取替需要

当社エレベーターロープ売上(重量ベース)

08/3期実績 対前年**19%増** 09/3期計画 同**13%増**

プロジェクト案件も順調に推移

光海底ケーブル用ワイヤ(電線メーカー向け)

羽田空港新滑走路建設工事(ロープ・カットワイヤ)

東北電力 十和田・北上幹線(鋼より線)

原材料高騰は価格改定で対応

ロープ・ワイヤ部門(ベトナム・ロープ)

東京製綱ベトナム(100%現法)

07年8月開業後、生産を開始 従業員数 70名

09/3期後半にフル生産へ(180t/月) 顧客認証、JIS取得済

現状

- 中国のエレベータ建設は想定以上、高級ロープの需要大幅増加
(2004年:9万台 → 2007年:14万台 → 2010年:17万台)
- **第二期(350t/月)・・・2008年5月着手**
- **ドバイ・インド・アセアンでの新規需要拡大も見込む。**
- **1,000t/月の一貫生産を視野**

当初見込み13万台



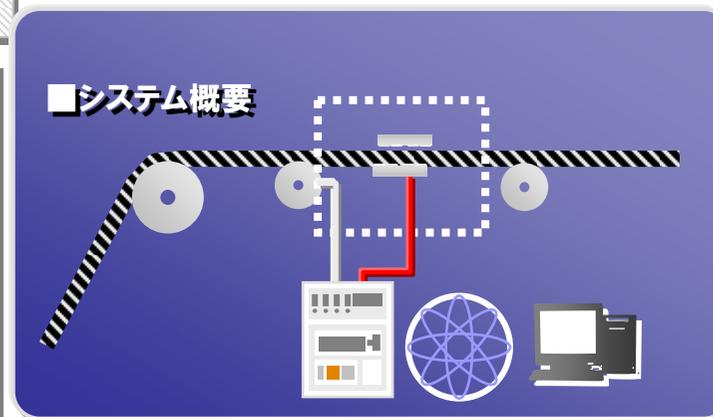
ロープ・ワイヤ部門(付加価値商品)

ロープ診断システム(SEMSOR®)

新しいビジネスモデル

(単純販売から大規模事業所のロープ一括管理へ)

- ・製鉄所・造船所等、10ヶ所に導入済
- ・今後、大規模コンテナヤードにも展開



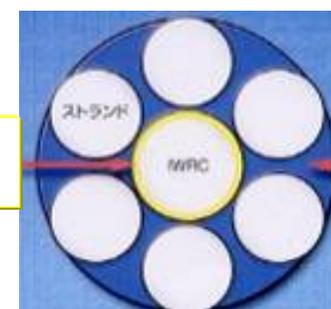
半被覆ロープ

長寿命ロープ

- ・国内コンテナクレーンを中心に投入開始
- ・用途拡大も追求
(海外資源国の大型建設機械等)



樹脂被覆ロープ心



樹脂スペーサー

開発製品部門（道路安全施設・橋梁ケーブル）

道路安全施設

「不透明な事業環境」を踏まえ、**一層の差別化**を追求

- 新型アンカー（高耐久アンカー、ノビットアンカー）
- マウントロックフェンス
- アクリル遮音壁
- タフコーティッド製品（高防錆能景観対応型塗装）
- 斜風・逆風対応防雪柵
- 新型雪崩予防工法（スノテップ）

開発製品部門（橋梁用ケーブル）

中国 橋梁用ケーブル工場

江蘇双友東綱金属製品有限公司（日中合弁・当社35%）

- **引き続き大型物件中心に案件獲得へ**

矮寨大橋(湖南省12,000t)、泰州大橋(江蘇省20,000t)、
南京四橋(江蘇省18,000t)、馬鞍山大橋(安徽省20,000t) 等

- **メッシーナ海峡大橋(165,000t) 復活の兆し**

(参考 明石海峡大橋 50,000t)

中計 『ステップアップ8・7』へ巡航軌道

1. 財務重視から成長・拡大志向へ

2. 継続的な競争力強化

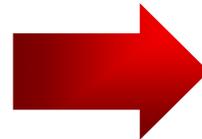
「8」 売上高の拡大(10/3期の売上高**800億円**以上)

→ **09/3期に前倒し達成見込** (鋼索鋼線が計画を上回り拡大)

「7」 収益力の強化(10/3期の売上高経常利益率**7%**以上)

	08/3期 実績
売上高	784億円
経常利益率	4.3%
自己資本比率	40%
有利子負債	224億円

あと
2年



「ステップアップ8・7」
10/3期目標
800億円 以上
7%(56億円) 以上
45%以上
200億円以下

09/3期見通し
830億円

「新しい東京製綱」を目指して

アメーバ経営の導入

鋼索鋼線(ロープ・ワイヤ)部門に導入開始

- ① 全員参加型経営の実現
現場主義の浸透・強化
情報共有による生産と営業の密接な連携
- ② 最小生産単位での効率性追求
- ③ キャッシュ・フロー型マネジメントの浸透

本社を新ビル(日本橋)に移転 (7月下旬~8月上旬)

本社部門のリフレッシュ、生産性向上

ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

2008年5月

東京製綱株式会社